

平成31年度 おかさきこども園 事業計画

平成31年入園希望44名でしたが、4月新入園児1号認定を2名含む17名、計134名のスタート予定です。こども園になり2年目をむかえ、中堅職員が中心となり、こども主体の保育を模索してきたが、少しずつ自分たちの目指したい保育が浸透してきたように感じます。今後も具体的にわかりやすく見える化し、継続できるように意識していきます。また、新人がたくさん入ってきて3年未満で退職する現状があり、人材育成の難しさを感じます。キャリアアップ研修を中心に組織づくりと、職員の研修、到達目標及び実践を共有し、働きやすい職場づくりと継続できる職場づくりを目指していきたいと思っております。そして、おかさきこども園の特色をみんなで考え、個人が保育を楽しみ、みんなで作り上げ地域に根付いた園でありたいと願っています。

<保育教育の理念>

『子どもの育ちを支える保育』

<保育教育目標>

「笑顔で、楽しく元気で健康な子ども」 「ともだちと仲よく遊ぶ子ども」

「感じたり、考えたり、工夫したりして、やりぬく子ども」

<重点目標>

- ①こどもを中心とした関わりを大切にして、保育の質を高め合う。
- ②家庭連携と保育のつながりを見る化していく。
- ③研修を活かして組織づくりをする。
- ④子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。

< ●挑戦 ○継続 ・実施 >

法人として	重点目標	事業計画
<p>1. 保育サービスの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認定こども園教育保育要項に沿った保育・教育の実践 ○国、県市への方針等の環境に報じた園の経営 ○行政に向けたタイムリーな情報発信 ○保護者への積極的な子育て支援 ○保育環境の整備 ○環境を守る取り組み 	<p>①こどもを中心とした関わりを大切にして、保育の質を高め合う。</p> <p>②家庭連携と保育のつながりを見る化していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもとの関わりを振り返る。 ・エピソード記述のグループワークを継続させ、保育の過程を大切にしながら、一人ひとりの保育実践を振り返る。、 ・子どもの姿を語り合い、保育の姿勢について振り返りを行う。 ・子どもの思いに耳を傾け、子どもに寄り添う保育を行う。 ・自分でやってみたいという意欲とやりぬくを大切にする保育教育の実施を具体化し、学びを共有していく。 ●気になる子、発達障害のある子に対する臨床心理士エキスパートの活用 ●うつぶせ寝や感染症等に対する安全対策 ○記録用紙を活かす方法 実践保育 ・3つの柱、10の姿を意識した記録用紙を使用、実践の具体化を図る。 ・養護と教育を実践につなげる。 ・生活の環境、遊びの環境を考える。 ・保護者との関わりを学び、職員共有していく。 ○保護者への積極的な子育て支援 ・子どもの様子日記 ・保護者懇談会 ・お誕生会の保育参加 ・行事参加のお手伝い ・父親への働きかけ・・・パパの会 ・気になる子どもの様子について保護者が相談する機会を設ける。 ・個人面談と就学への継続支援 ・栄養士等の専門的相談 離乳職教室 ○保育環境の整備 ・みんなが遊びに集中できる空間づくり ・給食室の食品庫整理 ・花など季節感の空間作り ●異年齢活動「わくわく」の充実 ○HPPの改革

		<ul style="list-style-type: none"> ・見やすい活用しやすいHPへ ・ブログこどものエピソードを伝える
<p>2. 職員の確保・人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○働きやすい環境づくり、待遇の改善 ○計画的な研修 ○採用関係等对象的にタイムリーな情報発信 	<p>③研修を活かし、組織づくりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○合同就職説明会への参加 男性職員を増やす ●新人研修の計画的な予定を考え定期的な会議、職員のローテーションを考える。 ●ノーコンタクトの活用 ・持ち帰り仕事の減少 時間の取り方改革 ○目標管理シートの活用 ・チューター制度を積極的に進めていく。 ○マニュアル、係の仕事の見直し ・防犯防災対策の再確認 ・市野与進こども園との情報交換研修 ●積極的な新人採用活動 ・新人職員からの情報交換 ○中堅リーダー、研修委員会が中心となり、園内研修を積極的に行う。 ○処遇改善 計画的なキャリアアップ研修
<p>3. 地域への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域における公益的な取り組み」を含む地域貢献活動の充実 ○地域に対するタイムリーな情報発信 ○環境を守る取り組み 	<p>④子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。</p> <p>※一時預り事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○びよびよクラブの充実 ・栄養士等の専門的相談 離乳職教室 ※緊急等一時預り事業を通して子育て支援 ○地域交流 ・自治会いきいきサロン ・お年寄りとの継続交流 ・お祭など地域行事への鼓隊参加 ・蛍の放流・畑体験 ○おひさま広場でふれあいあそび、 ・こどもの居場所づくり ○こども食堂 ボランティア活動 ○園庭芝生緑化、 ・花壇 畑の管理
<p>4. 法人、事業基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営の把握と無駄の排除 ○生産性の向上のために積極的にICTを取り入れる 経営状況を適切に把握し、中期事業計画を策定する。 (人員と設備備品の予算根拠の明確化とその実行管理) 		<ul style="list-style-type: none"> ○節電 ・ 昨年の電気料より下げる工夫をする。 ○経営の把握(収入支出のバランス)しながら購入を考える。 ●経営状況を適切に把握し、中期事業計画を策定する。 (人員と設備備品の予算根拠の明確化とその実行管理)

<4月入園園児数> 定員126人 <4月職員数> () は、H30年度

	0歳児	1歳児	2歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
進級児童数	1	11 (14)	16 (20)	7 (5)	26 (27)	27 (27)	28 (28)	116 (121)
2・3号認定	5 (7)	6 (8)	2 (1)			1	1	15 (16)
1号認定					2 (1)	1 (0)	0 (1)	3 (2)
合計	6 (7)	17 (22)	18 (21)	7 (5)	28 (28)	29 (27)	29 (29)	134 (139)

<職員数>

	園長	主幹	保育教諭	栄養士	調理師	事務	業務用務	学童	
正規	1	2	17 (16)	1	2	1		1	25 (23)
非常勤			3 (3)		1				4
パート			7			1	2	6	16
合計	1	2	28 (26)	1	3	2	2	7	45 (44)